

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	アセスメントや通常の聞き取りだけでは入居者さま一人ひとりの思いが汲み取りきれていない現状がある。	言語での伝達が困難な方や、遠慮等で希望通りの支援を受けていないご利用者の思いを知り、精神的、身体的に暮らしやすいグループホームへの改善を図る。	スタッフ全員が利用者体験(利用者と一緒にテーブルに一日座り、食事、トイレ等も同じにする。)をすることで環境面を含め、多角的な気づきを得てグループホームの改善(ご利用者の思いを知る)に取り組む。	6ヶ月
2	30	受診の際、ご家族が対応して下さることも多く、日常の状況を伝えても医師への伝達の際に漏れてしまうことが多い。	スタッフやご家族のどなたが受診に付き添いをして必要な情報が医師に伝わり、的確な指示を頂けるようにする。	主治医連絡票を作成し、必要事項(バイタル、身体条項等)を事前に記入し、受診時に活用する。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月